様式１

受付日：　　　　　　　受付番号：

**平成３０年度共同研究課題申請書**

　　　　　平成　　年　　月　　日

東京農業大学　生物資源ゲノム解析センター長　殿

　　　　　　　　　　　　申請者（研究代表者）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 所属機関名 |  | | |
| 所属機関区分 | 国公立大学　私立大学　民間研究所  独立行政法人（国立研究開発法人を含む）その他 | | |
| 所在地 | 〒 | | |
| 部局･職名 | 部局 | 職名 | |
| 氏名 |  | | 印 |
| ＴＥＬ |  | |  |
| ＦＡＸ |  | |  |
| ｅ－ｍａｉｌ |  | |  |

平成３０年度課題募集要項を踏まえ、下記により申請します。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **１．研究課題名** | | | |
| （和名）:  （英名）: | | | |
| **２．研究組織** | | | |
| 共同研究者名  ※農大側の責任者には先頭に○印 | 所属機関・部局・職名 | 役割分担  ※研究実施計画に対する各々の役割分担を明記 | |
| (代表者)  (共同研究者・農大)  (共同研究者・その他) |  |  | |
| 研究組織における総研究者数（大学生・大学院生を含む）　　　　　　　　　　　　 　名 | | | |
| 研究期間 | 平成３０年　４月　１日　〜　平成３０年　９月３０日 | | |
| 法令等の遵守への対応（該当する場合） |  | | |
| **３．研究の背景と目的**（研究全体の背景、目的に加え、次世代シーケンサーがなぜ必要か、シーケンサーの結果からどのような情報を得たいのか、また本学との共同研究の必要性がわかるように具体的かつ詳細に書いて下さい。３．以降は、改行によるページ数増加を可とします。） | | | |
| **４．研究計画・方法等**（生物種、解析対象のリファレンスゲノムの有無、解析法(De novo, Resequencing, RNA-seq等)、サンプル数、サンプル送付時期（現時点でのサンプルの準備状況も明確に）、インフォマティクス解析を誰が行うかも含めた研究体制などについて具体的かつ詳細に記入して下さい。また、データ量の指定がある場合は、ランの種類・レーン数について記入して下さい。）  生物種（学名）：  リファレンスゲノムの有無（可能であればVersionも記載）：  解析法：  サンプル数：  サンプル送付時期（サンプルの準備状況）：  インフォマティクス経験：  研究体制・スケジュール（論文化も含む）について： | | | |
| \*ランの種類・リード長・リード数、データ量（３種類以上のランの場合、項目を増やして分かるように記載してください）  Run1 [ ] 解析  Single Read(SR) ・ 50bp 75bp 100bp　 　　　　 ・ [　　 　 ] リード あるいは [ Mb/Gb]  Paired End (PE) ・ 75bp 100bp 150bp 300bp ・ [ ] リード あるいは [ Mb/Gb]  Run2 [ ] 解析  Single Read(SR) ・ 50bp 75bp 100bp　 　　　　 ・ [　　 　 ] リード あるいは [ Mb/Gb]  Paired End (PE) ・ 75bp 100bp 150bp 300bp ・ [ ] リード あるいは [ Mb/Gb] | | | |
| **５．期待される成果と農学分野への貢献**（農学分野にどのような寄与があるのかを、明確に記載して下さい。） | | | |
| **６．これまでの研究経緯と成果**（過去に本拠点の課題に採択されたことがある場合、その研究の進捗状況と、本申請との関連性を記載してください） | | | |
| **７．研究課題に関わる研究費獲得状況について**（公的外部資金を獲得している場合、本申請課題との関係に関わらずすべて記入の上、本拠点事業を利用される理由を記入してください。研究開発法人で本務の研究費・課題がある場合、それとの関係、エフォートについても記入してください。） | | | |
| **８．所属機関の次世代シーケンサー導入・稼働状況について**（所属機関に次世代シーケンサーが導入されている場合、本拠点事業に申請される理由を記入して下さい。） | | | |
| **９．本研究に関連する代表的な発表論文等**（著者名・出版年・論文名・掲載誌名等の順に記載して下さい。） | | | |